

彦根総合スポーツ公園陸上競技場（平和堂HATOスタジアム）

建築場所	滋賀県彦根市松原町3028
建物概要	構造/階数：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造/地上5階 延べ面積：24,043 m ² 建築面積：14,235 m ² 収容人：15,000 人 メインスタンド：7,000席 トラック：400m×9レーン 舗装：全天候舗装 環境指標 BEI=0.87(集計結果計算対象部分のみ) 竣工年月 令和4年12月
事業者	滋賀県
設計者	株式会社佐藤総合計画
監理者	滋賀県、株式会社佐藤総合計画関西オフィス
施工者	建築工事：鹿島・笹川特定建設工事共同企業体 電力設備（電気・通信）：栗原・甲賀建設工事共同企業体 機械設備（給排水衛生）：アアン・水研建設工事共同企業体 機械設備（空調）：滋賀工業株式会社 昇降機設備：フジテック株式会社

建築物（令和4年12月竣工）



コンパクトな競技場

- ①メインスタンドの観客席を2層構成にし、フィールドとの距離を短くした臨場感の高い観戦が可能
- ②競技場周辺に空間を生み出し、住宅地からの距離を離す事や樹木を植栽し圧迫感を低減
- ③建物の幅や屋根の架設面積を縮小したことによるコスト縮減

・メインスタンド観客席から客席の2段化により全ての座席がフィールドに近い環境を実現

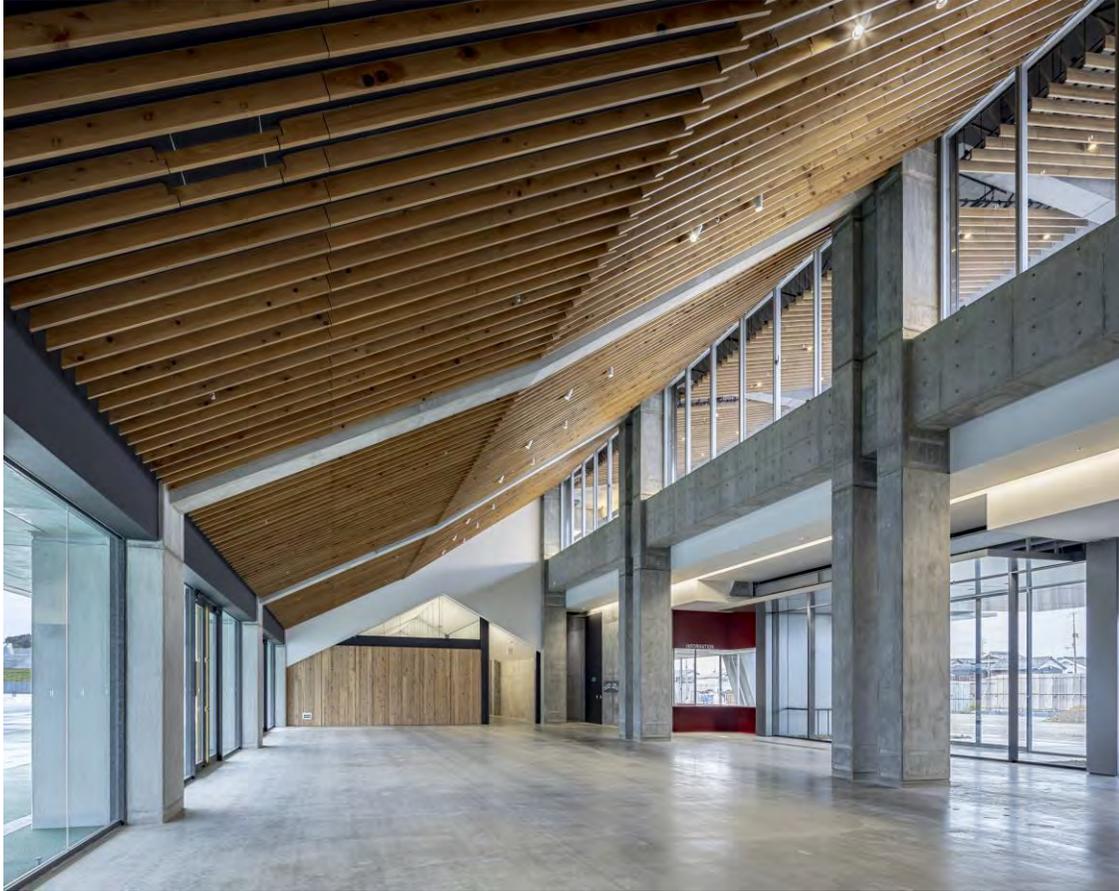
歴史景観に配慮した競技場

- ①伝統的な真壁造りや下見板張りのデザイン
- ②かつての内湖にあった百間橋をモチーフに柱と梁を連続で檜形状に構成
- ③城下町の景観と調和するように彩度を抑えた色調を採用

俯瞰

滋賀の歴史文化を継承し、親しみをもてる交流の懸け橋となる競技場

エントランス



環境負荷の縮減を図る

- ①遮光・防音ルーバーを設置し住環境負荷（光もれ、音もれ）を低減
- ②競技場照明をはじめとする全ての照明にLED 器具を採用
- ③県産材の活用に努め輸送によるCO2 の発生を縮小
- ④屋根に降った雨水はフィールド芝等への散水に利用

- ・ エントランスホール
天井ルーバーには県内産木材を利用し、温かみのある空間とする

バックスタンドスタジアムリング



周囲を自由に回遊できる

- ① 2階レベルに段差なく回遊できる歩道空間(スタジアムリング)を設置
- ② 回遊できる歩道空間に三つの階段と一つのスロープを設け公園内各施設への動線を確保
- ③ 歩道空間と連絡橋を接続し市営金亀公園へのアクセスを向上

- ・ バックスタジアムリング
広く開放的で圧迫感のない空間

野球場側の緑の丘と大階段 イメージパース



建築物（令和4年12月竣工）



安心で安全な競技場

- ①耐震性の高い構造架構
- ②災害時の緊急輸送機能や避難施設機能を確保
- ③発災時には貯水した雨水をトイレの洗浄水等に活用
- ④日常動線が避難動線になる、安全でわかりやすい避難計画

- ・公園からバックスタンドを見たイメージ
公園と第1種陸上競技場をつなぐ「緑の丘」と「大階段」

竣工建物（令和4年12月）

スタンド全景



メインスタンド



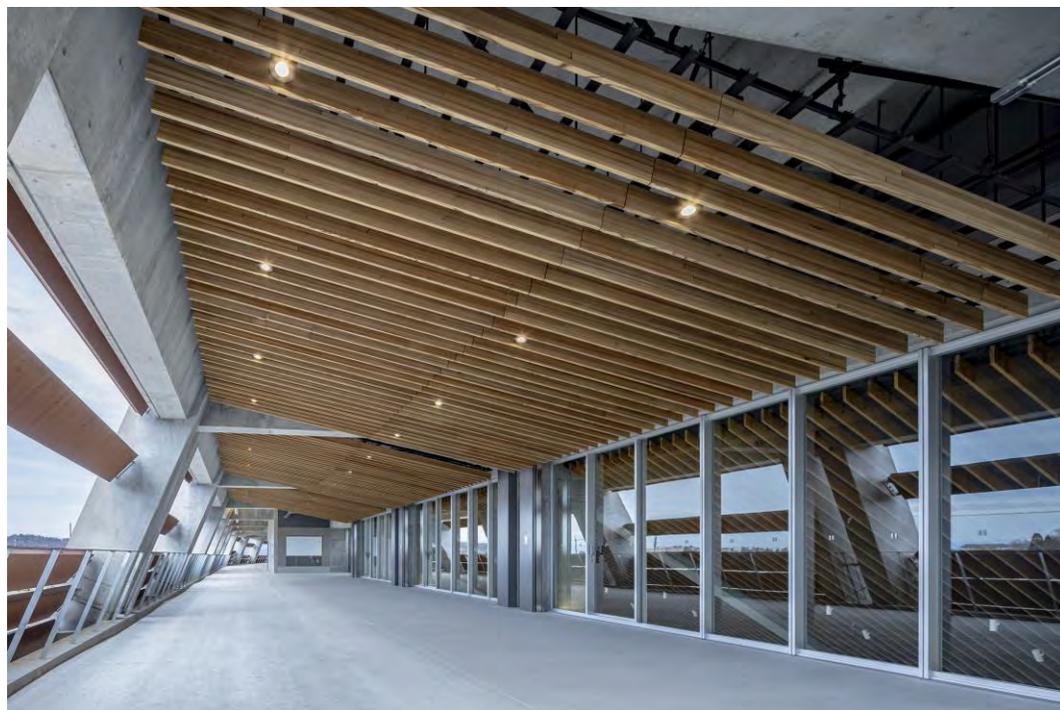
メインスタンド外観



バックスタンド外観



メインスタンド2階スタジアムリング



バックスタンド1階室内走路

